

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	18-	6
事業名	公民館諸事業経費	
	会計	款
	一般	10
		5
		3
施策	3	心豊かなまち
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる
	3-1-3	生涯学習の推進
主要施策	③特色ある生涯学習プログラムの整備と提供	⑤学習成果の活用
	⑥生涯学習に参画する人材の育成	

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど施設の有効利用、利便性を図る。
事業内容	中央公民館での作品展示会やクラブ・サークル活動の充実、また、生涯学習の企画運営に参画するコーディネーター（指導者含む）を募集し、人材の発掘と育成を図るとともに、若者から高齢者までを対象とした学習機会の拡充に努める。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年（目標）		
	1	公民館施設利用者数		29,387	30,217	人	↑	25,000	
2									
3									
4									
5									
		平成29年度（決算）		平成30年度（決算）	平成31年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B				3,633	6,457	6,700			
財源内訳	直接事業費A				3,633	3,475	3,718		
	うち一般財源				3,633	3,475	3,718		
人件費（千円）B				0	2,982	2,982			
内訳	一般職員（人・千円）				0	0.37	2442	0.37	2442
	臨時職員（人・千円）				0	0.3	540	0.3	540

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	夜間の利用が少ない。
②H30年度に実施した取り組み	中央公民館各施設において、さまざまな学習活動等が実施された。	④今後の改善計画	夜間の利用が増えるように、魅力ある公民館講座等の開設に努める。